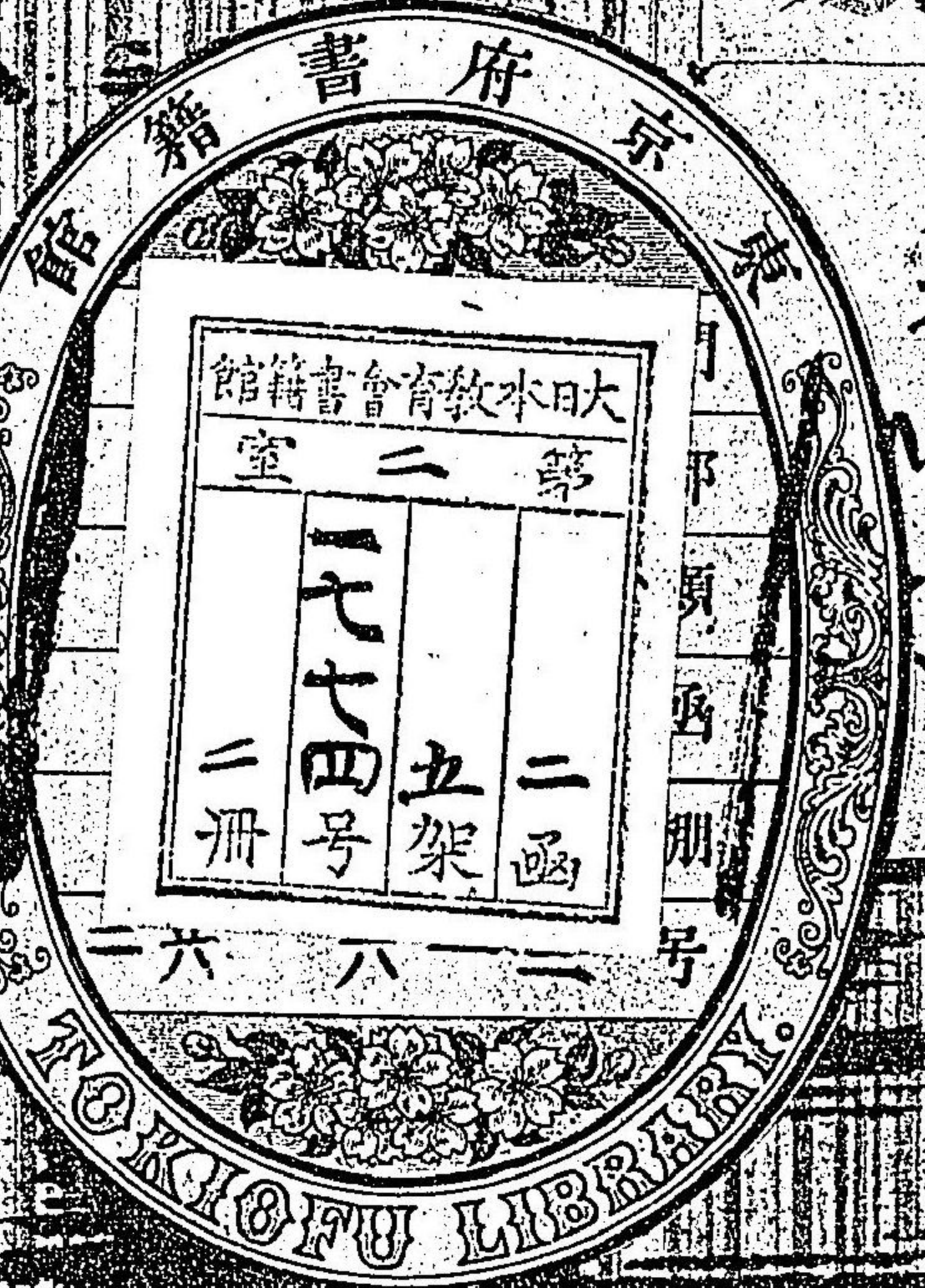


特37

999

理学初步直譯

初篇上



052943-001-9

特37-999

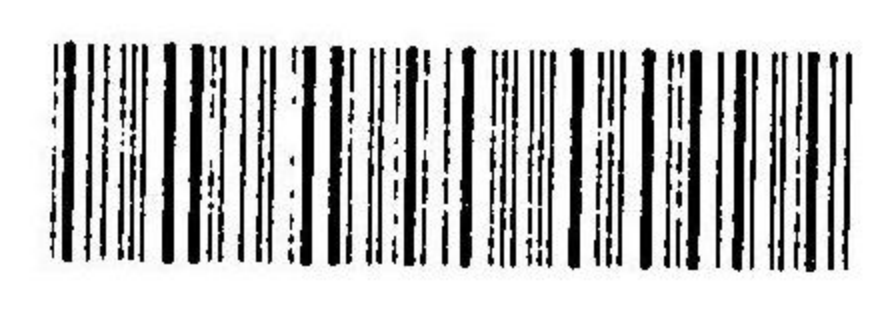
理学初步直訳

青木 輔清/訳

36

M5

CAA-0330



青木輔清譯



理學初出直譯



明治壬申 二月上梓 中外堂發兌

例言

此直譯ハ僻地 學童ノ便ニ

供ルモノナレバ 劬テ俗語ヲ用ヒ力限及簡

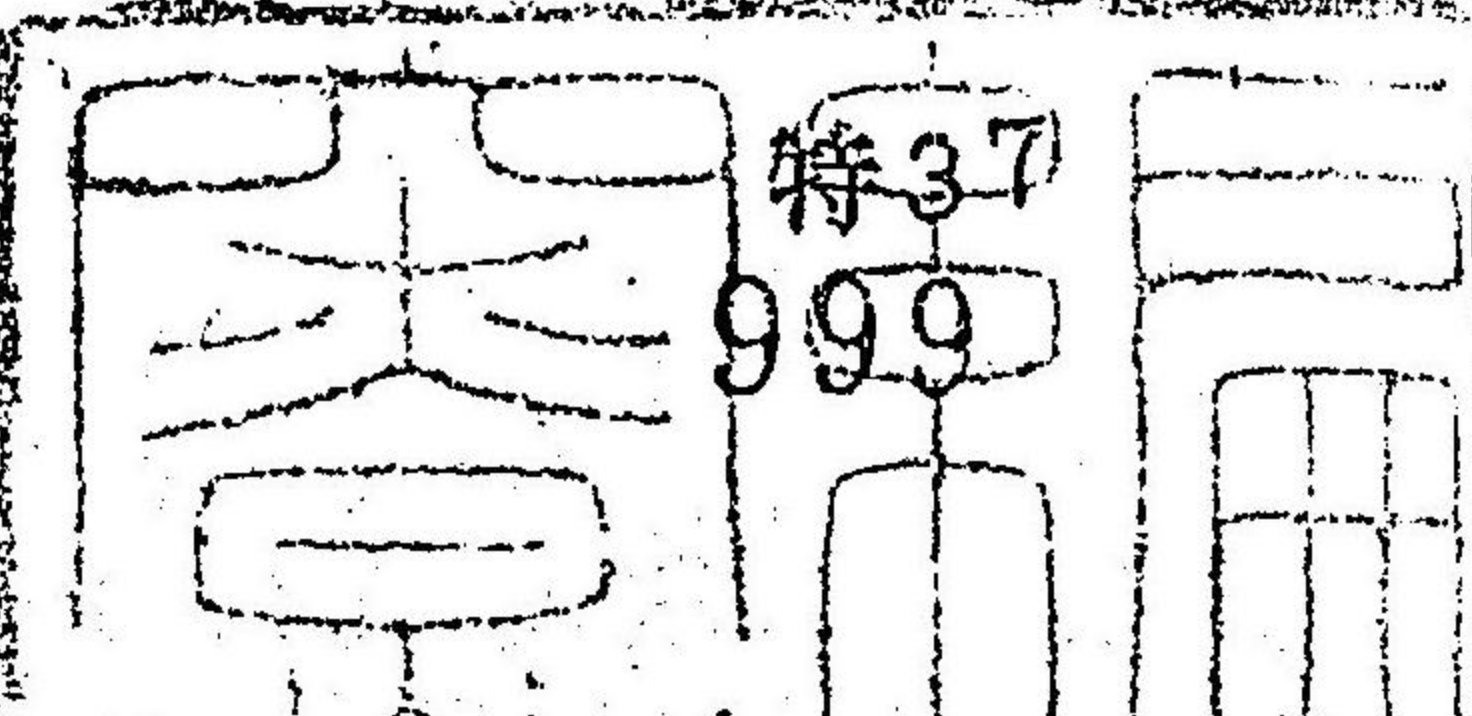
易ノ讀法ヲナシ 昨今入學ノ兒童ト雖

モ讀ミ易ク且ツ 源書ノ義理ヲ得易キヲ

主トス故ニ 接續詞關係代名詞ノ如キモ

數回讀ム片ハ 大ニ混雜ヲ生シ却テ得難

特37 999



カラント此書中ニハ略シテ同字ヲ數回讀ム  
 一ナシ但シ止ヲ得ス復ヒ讀ムモノハ「」ヲ  
 以テ標ズ例ヘバ其レハ「」スル「所」  
 若シモ「」スル「ナラバ」ノ類ナリ又前詞ハ  
 其意味ニヨリニ或ハ「」ト讀ムモノアリ又  
 シク注意シテ混ズル「」勿レ

明治五歲壬申櫻月

譯者誌

東京府  
 書籍  
 館

學初歩直譯

第一章

如何ナル都府ニ汝ハ住居ナスカ

〇ニニ

●如何ナル侯領ニ於テカ

〇ニニ

●如何ナル國ニ於テカ

〇ニニ

●汝ハ大陸ニ住居ナスカ又寫ニ住居ナスカ

〇大陸ニ

地理

大陸ハ何デアルカ

○陸ノ甚ダ大ナル部分ニテ或ル寓ヨリ大ナル部分也

●如何程多クノ大陸ガ其處ニアルカ

○其知ニニツノ大陸ガアル

●是等ノニツノ大陸ガ何ト名ケラル、カ

○東大陸ト西大陸ナリ

●彼等ノドレニ汝ハ住居ナスカ

○西大陸ニ

●西大陸ハ何ト名ケラル、カ

○其レガ亜米利加ト名ケラル、

●亜米利加ハ如何様ニ分タル、カ

○其レガ北亜米利加ト南亜米利加ニ分タル、

●ドレニ汝ハ住居ナスカ

○余ハ北亜米利加ニ住居フ

●北亜米利加ノ如何ナル邦ニ汝ハ住居ナスカ

○合衆國ニ

●合衆國ノ如何ナル部分ニ於テカ

○、、、ニ於テ

○第二章

● 亞米利加ハ如何ナル半球ニ在ルカ

○ 西半球ニ

● 然ラバ如何ナル半球ニ汝ハ住居ナスカ

○ 西半球ニ

● 半球ハ何デアルカ

○ 半球ハ半分ノ球デアアル

● 球ハ何デアルカ

○ 球ハ四球即チ九デアアル

● 然ラバ半球ハ何デアルカ

○ 其レハ半分ノ四球即チ半分ノ球即チ半分ノ九デアアル

● 橙突ハ球デアアルカ

○ 其レガアル如何トナレバ其レガ球ノ如ク四クアル

故也

● 若モ余ガ橙突ヲニツノ等シキ部分ニ断ルナラハ是

等ノ部分ノ各々が何ト名ケラル、デアロフカ

○ 半分ノ橙突即チ半分ノ球也

● 半分ノ橙突ハ半球デアアルデアロフカ

○ 其レガアロフ而、橙突ノニツノ半分ガニツノ半球デア

アルデアロフ

● 如何程多クノ半球ガ一球ニ於テ其處ニアルカ

○其処ニニツアル

●其処ニニツヨリ多クハアラヌカ

○アラス如何トナレバニツノ半球ガ一球ヲナス故也

●余ハ橙実ヲ他ノ方向デニツニ断テ而其レノニツノ

半分ヲ成シ能ハヌカ

○汝ハ能フ而是等ガマク半球デアアルデアロフ

○第三章

●余ハ其レヲ断ルナシニ橙実ノ中央ノ周圍ニ仰テ

ナスデアロフヲ仮定ルソレガ橙実ヲニツノ半球ニ

分ツデアロフカ

○其レガアロフ標ノ一方カ一ツノ半球デアアルデアロ

ノ而他方が他ノ半球デアアルデアロフ

●世衆其レニ於テ余輩ガ住居ヲ知ノ世界ノ形ハ何テ

アルカ

○其レガ球即チ橙実ノ如ク圓クアル

●然ラバ如何程多クノ半球ガ其處ニアルカ

○ニツナリ

●彼等ガ何ト名ケラルカ

○東半球ト西半球ナリ

●何故ニ彼等ガ東而西ト名ケラルカ

○如何トナレバ球即チ世界ハ北極ヨリ南極ニ行ク処ノ線ニテ分タル、而此線ノ東世界ノ此部分ガ東半球ト名ケラル、而線ノ西ノ部分ガ西半球ト名ケラル、故也

●余ハ世界ヲ北半球ト南半球ニ分チ能ハヌカ

○汝ハ能フ

●余ハ如何様ニ其レヲ分ツデアロフカ

○線ヲ他ノ方向テ周圍ニ引クニ因テ而其レヲシテ東ヨリ西マデ行カシムルニ因テ

●然ラバ線ノ北ニアル処ノ此部分ガ何ト名ケラル、カ

○北ノ半球ナリ

●而南ノ部分ガ何ト名ケラル、デアロフカ

○南半球ナリ

●彼等ノドレニ汝ハ住居ナスカ

○余ハ北半球ニ住居フ

●何故ニ汝ハ北半球ニ住居ナスカ

○如何トナレバ余ハ東ヨリ西ニ行ク如ノ線ノ北ニ住居フ故也

●此線ハ何ト名ケラル、カ

○其レガ赤道ト名ケラル、

●然レ汝ハ西半球ニ住居ナサスカ

○余ハナス

●何故ニ汝ハ西半球ニ住居フト汝ハ云ヒナスカ

○如何トナレバ余ハ北極ヨリ南極ニ行ク処ノ線ノ西

ニ住居フ故也

●而何故ニ汝ハ北半球ニ住居ナスカ

○如何トナレバ余ハ東ヨリ西ニ世<sup>マツリテ</sup>環行<sup>マツリテ</sup>処ノ線ノ

北ニ住居フ故也

●然シ其処ニ四ツノ半球ガアルカ

○其處ニ只ニツアル<sup>ル</sup>若モ汝ハ橙<sup>ニ</sup>実ヲ上ト下ノニツニ

断ルナラバ其処ニニツノ半球ガアルデアロフ然シ

余ハ全ジ橙<sup>ニ</sup>実ヲ他ノ方向デニツニ断テ而上半球ト

下半球ナルニツノ半球ヲ成シ能フ

○第四章

●世界其レニ余<sup>ニ</sup>輩ガ住居フ<sup>ニ</sup>処ノ世界ノ形ヲ汝ハ余ニ

話シ能フカ

○其レガ橙<sup>ニ</sup>実ノ如ク<sup>マ</sup>固クアル

●汝ハ其レガ固クアルヲ如何<sup>カ</sup>ニ知リナスカ

○若モ月ガ蝕<sup>ク</sup>サル、其<sup>レ</sup>ノ上ノ地球ノ影ガ球ノ如

ク固クアリシ



- 此書物ノ影ハ何ノ如クアルカ
- 此書物ノ如シ
- 玉ノ影ハ何ノ如クアルカ
- 其レハ玉ノ如クアル
- 然ラバ月ノ上ノ地球ノ影が田クアルナラハ地球ノ形ハ何デアアルカ
- 其レガ田クアル
- 此世界ハ何ト名ケラル、カ
- 地球ナリ
- 地球ハ何デアアルカ

- 其レガ惑星デアアル
- 惑星ハ何デアアルカ
- 其レハ太陽ヲ環行テ而太陽ヨリ光ト温ヲ受取ルルノ暗体デアアル
- 月ハ亦々惑星デアアルカ
- 其レガアル
- 月ハ何ヲ回テ行キナスカ
- 其レハ毎月ニ一度地球ヲ回テ行ク
- 地球ハ全時ニ太陽ヲ回テ行キツ、アルカ
- 其レガアル而ソレガソレヲ環行爲ニ一年ヲトル

○第五章

●大空ヲ仰望タ処デ何ヲ汝ハ見ナスカ

○其レが曇テアラヌ所ハ昼時ニ余が大陽ヲ見ル夜間ニ余が月ト星ヲ見ル

●余輩が住居スル地球ハ星ニ因テ環周ル、カ

○其レガサル、

●世界ノ他方ニ於テノ人民が彼等ヲ見能フカ

○其レガツエニ夜デアル所ハ彼等が能フ

●如何ニ汝ハ彼等が能フヲ知リナスカ

○如何トナレバ星ハ全ク世界ヲ周環テアル故也

●是カ何ノ如クアルカ

○其レガ橙実或ハ林檎ヲ水ノ井ニ容ル如クデアル

●水が橙実ノ全方ニアルカ

○其レハアル

●星ハ昼時ニモ余輩ノ上ニアルカ

○彼等ハアル

●如何ニ汝ハ彼等がアルヲ知リナスカ

○或ルモノハ昼大陽が蝕サレシ正午ニ見ラレシ

●汝ハ彼等ノ一ツノ名ヲ語シ能フカ

○金星が然ル片ニ見ラレシ

●何時金星が見ラルベクアルカ

○時トシテハ殆ド日没ノ後ニ

●其レガ此時ニ見ラル、其レガ何ト名ケラル、カ

○其レガ昏星ト名ケラル、

●何時ソレガ晨星ト名ケラル、カ

○其レガ日出前ニ見ラル、其ニ

●ドノ星ガ金星デアアルカヲ如何ニ汝語シ得ルカ

○其レガ他ノ星ヨリ大ク見ユル而甚々輝テ美麗アル

●金星ハ惑星デアアルカ

○其レガアル

●總テノ星ガ惑星デアアルカ

○彼等ガアラ区或ル星ハ惑星ト名ケラレシ而或ル星

ハ定星ト名ケラル、

●星ハ昼時ニモ輝シナスカ

○彼等ガナス

●然ラバ何故ニ余輩ハ夜間ニ於テノ通り彼等ヲ見能

ハスカ

○如何トナレバ太陽ノ光ハ彼等ノ光ガアルヨリ左様

ニ甚々輝テアル故也

●彼等ハ昼時ニ或ルヨキヲ余輩ニナシナスカ

○星ハ大陽が照スキハ燈火がアロフヨリ多クノヨキ  
トナサヌ

○第六章

●汝ハ如何ニ月が蝕サルベク為サル、亦ヲ余ニ話シ  
能フカ

○地球其レニ余輩が住居フ処ノ地球ガ大陽ト月ノ間  
ニ来ル

●余輩八月ヲ見能ハヌカ

○余輩ハ其レヲ見能フ然レ其レガ余輩ヲ照シナサヌ  
●何故ニツレが照シナサヌカ其レが光体デアラヌカ

○其レガアラヌ其レガ地球ノ如ク暗体デアル

●然ラバ何がソレヲシテ照サシムルカ

○其レノ上ヲ照ス大陽が其ヲシテ光ヲ見セシムル

●大陽がソレノ上ヲ照ストニ由テ如何様ニ月光ヲ為  
シ得ル乎ヲ汝ハ説明シ能フカ

○余ガ夜間ニ部屋ヨリ蠟火ヲ取り出シテ而テ室ヲ充分  
暗ク仕置クナラバ鏡が室内ノ他ノ物ノ通り暗ク見  
フル

●汝ガ光ヲ室ニ持帰ルナラバ其レガ如何様ニアルデ  
アロフカ

○鏡ガ他ノ物ヨリ光ヲ見ヘルデアロフ其レカ照スデアロフ

●何ガ其レヲシテ照サシムルカ

○其レガ蠟火ノ光ヲ室ニ反射ス

●鏡ガソレノ上ヲ照ス処ノ光ヲ反射ス其ハ鏡カ何ヲ為スト余輩ガ云ヒナスカ

○余輩ハ鏡ガ光ヲ反射スト云フ

●然ラバ若モ太陽カ月ヲ照ス其何か月ヲシテ照サシムルカ

○月ガ太陽ノ光ヲ反射シ即チ反射ス而是ガ月光ヲ為

ス処ノモノデアル

●余輩ハ夜中ニ太陽ヲ見ナサス而余輩ガ其レヲ見能ハス其如何ニソレガ月上ヲ輝シ能フカ

○戸ガ冥テアル其レガ鏡ノ上ヲ輝シ得ル一程左様

ニ余ガ他ノ室ニ蠟火ヲ置クナレバ余ハ蠟火ヲ見能フ所ニ余ガ立止ナサスト虽モ余ハ室ノ各々ノ部分ヨリ鏡ノ光ヲ見能フ

●余輩ハ太陽ヲ見能ハス其何故ニ余輩ガ月光ヲ見能フカラ今マ汝ハ話シ能フカ

○此世界ハ毎日回轉スル而余輩ガ太陽ヨリ背テ回ハ

サレ、イモ大陽ハ尚月ヲ輝シ得ル而余輩が大陽ヲ見能ハスイモ余輩ハ月光ヲ見能フ

●大陽ハ同時ニ月ノ半分ヲ輝シナスカ

○其レハ大陽ニ向テアル所ノ此半分ニナス

●月其レヲ大陽が輝ヌ~~死~~月ノ此部分ノ總テヲ何時ツ余輩ハ見ナスカ

○月が丸クアツテ而其レノ全面が輝クベク見ルイ

●然ルイ月ハ何ト名ケラル、カ

○其レが満月ト名ケラル、

●何故ニ余輩ハ毎ニ満月ヲ見ナスカ

○如何トナレバ時ニヨリ其レノ光ル方ノ一部が大陽ヨリ背テ回ハサル、故也

●満月ハ何デアルカ

○光タル部分ノ全面が余輩ニ向テアルイ余輩ハ月ヲ満月ト名ケル

●何時ツ其レが新月ト名ケラル、カ

○其レヲ大陽が輝ヌ~~死~~此部分ノ只僅ヲ夜中ニ余輩が見ルイニ余輩が其レヲ新月ト名ケル

●然ラバ月ハ毎月新シクナリ成ラル、カ

○其レハ然ラズ

- 何時ソレが成サレシカ
- 神が地球ヲ創造シキ也
- 誰が月ヲ為シカ
- 神が月ト地球ヲ為シ而彼が統テノ物ヲ為シ

○第七章

- 太陽ノ蝕ハ如何様ニシテナサル、カ
- 月が地球ト太陽ノ間ニ動テ而余輩カラ太陽ノ一部ヲ隠ス
- 何故ニ其レが太陽ノ全面ヲ隠シナサヌカ
- 如何トナレバ太陽ハ月ヨリ甚だ大クアル故也

- 其レが蝕サレシキ太陽が如何様ニ見ヘナスカ
- 其レハ黒キ丸キ點ガソレノ上ニ在ルカノ如ク見フル
- 何が昼ト夜ヲナスカ
- 太陽ノ光が昼ヲナシ而太陽が輝キナサヌハ其レが暗クアツテ而余輩が其レヲ夜ト名ケル
- 然レ太陽ハ絶ズニ輝シナサヌカ
- 其レガナス然シ余輩が絶ズニ其レヲ見ナサヌ
- 何故ニ余輩ハ其レヲ見ナサヌカ
- 地球ハ毎日回轉スル而時ノ一ツノ部分ニハ太陽が

世界ノ余葦ノ部分ヲ輝ス而余葦ガソレヲ昼ト名ケル而余葦ガ大陽カラ回ハサル、其レガ余葦ヲ輝シナサ又而ソレガ暗クアル而余葦ガソレヲ夜ト名ケル

●余葦が大陽カラ回ハサル、其レ地球ノ何ノ部分ヲ大陽カ輝シナスカ

○地球ノ反対シタル方ヲ而然ルキソレガソコニ昼デア  
 アル然シ其レハ余葦ガ在ル所ノ方ニ於テ夜デア  
 ●大陽ハ毎日昇テ而没シナスカ  
 ○其レガナスベク見フル然シ其レガナサ又余葦ガ

モ大陽ノ運動ヲ見能ハヌ

●然ラバ何故ニソレガ毎朝昇ルベク見へ而毎夕没スルベク見へナスカ

○其レハ地球ガ毎日回轉シテ而時トシテハ余葦が大陽ニ向テ回リツ、アリ而時トシテハ余葦ガソレカラ背テ回リツ、アル故デア  
 ●何故ニ地球ガ靜ニ止ルト見へ而大陽ガ動クト見フルカヲ汝ハ説明シ能フカ

○余ガ糸車或ハ荷車ニテ甚々速ニ糸リツ、アルキハ家垣及ビ木ガ余ヲ過テ速ニ行キツ、アルベク見フ



ル其間乗車或ハ荷車ハ静ニ止ルト見フルノニ其  
レ故ニ地球ハ太陽ガ地球ヲ回テ行キツ、アルベク  
見フルト程左様ニ至急ニ回轉スル其間地球ハ静ニ  
止ルト見フルノニ

●ドノ方向ニ太陽カ運動スルベク見ヘナスカ

○東ヨリ西ニ

●何が其レヲシテ東ヨリ西ニ運動スルベク見セシム  
ルカ

○西ヨリ東ニ回ル地球也

●日ノ出ハ何デアルカ

○夜中ヨリ正午マデ余輩ガ太陽ニ向テ回轉シツ、ア  
ル而ノ余輩カ初メニ太陽ヲ見ル片余輩ガ其レヲ日  
出ト名ケル

●日没ハ何デアルカ

○正午カラ夜中マテ余輩ハ太陽カラ背テ回轉シツ、  
アル而メ太陽カ没ルベク始ル片余輩カ其レヲ日没  
ト名ケル

●太陽ガ余輩ノ頭上ニアル片ハ余輩カ其レヲ何ニト  
名ケナスカ

○余輩ガ其レヲ正午名ケル

●若モ地球が少シモ回轉シナサヌナラハ如何様ニ太陽が余輩ニマデ見ラルデアロフカ

○其レハ靜ニ止ルト見フルデアロフ

●然ルモ其処ニ或ル夜がアルデアロフカ

○若モ余輩が大陽ニ向テ回ハサル、ナレバ其処ニ余輩ニマデ何ニモアラヌデアロフ

●大陽ヨリ反對ニタル地球ノ他ノ側ニ於テノ人民ニマデ其レが如何様ニアルデアロフカ

○其レが常ニ夜デアアルデアロフ

●民ハ曾テ地球が靜ニ止テ而大陽ト月ト而ノ星が其

ヲ回テ運動スルト考ヒシカ

○大ナル多クノ年代ヲ生活セシ所ノ者が左様ニ想ヒシ

○第八章

●如何程屢々地球が回轉シナスカ

○二十四時ニ一度

●如何ニ汝ハ話シ能フカ

○如何トナレバ昨日ノ日出カラ今日ノ日出マデソコニ二十四時アル而昨日ノ正午カラ今日ノ正午マデソコニ二十四時アル而昨夜ノ日没カラ今夜ノ日没

マデソコニ二十四時アル

●一日ハ如何ニアルカ

○二十四時

●如何程多クノ日ガ一暦ニ於テソコニアルカ

○七日

●如何程多クノ周ガ一年ニ於テソコニアルカ

○五十二周

●如何程多クノ月ガ一年ニ於テソコニアルカ

○十二月

●如何程多クノ日ガ一年ニ於テソコニアルカ

○三百ト六十五日

●如何ナル月ガ春ト名ケラル、カ

○三月四月五月

●如何ナル月ガ夏ノ月ト名ケラル、カ

○六月七月八月

●ドレガ秋ノ月デアアルカ

○九月十月十一月

●而トレガ冬ノ月デアアルカ

○十二月正月二月

●年ニ於テ最初ノ月ハドレデアアルカ

○正月

●ドノ日カ元日、名ケラル、カ

○正月ノ最初ノ日

●何カ年ヲナスカ

○一度大陽ヲ運行地球也

●然ラバ如何程屢地球ハ大陽ヲ回テ行キナスカ

○一年ニ一度

●而如何程屢其レガ回轉シナスカ

○毎日

●回轉カ何ト名ケラル、カ

○回轉也

●然ラバ如何程多クノ回轉ヲ地球ガ持ツカ

○其レガニツノ回轉ヲ持ツ

●彼ラハ何デアルカ

○一ツハ毎日ノ其レノ回轉デアアル而メ他ハ一年ニ一度大陽ヲ回テ其レノ行クデアアル

○第九章

●如何ニ大陽ガ余輩ニマデ要用デアアルカラ余ニ話スカ

○其レガ甚ダ要用デアアル

●如何ナル仕方ニテ其レが要用デアルカ

○其レハ余輩が見能フ程左様ニ光ヲ余輩ニ與テ而其レが余輩ヲ暖ニナス

●如何ナル他ノ仕方ニテ其レが要用デアルカ

○其レが地球ヲ暖テ而植物ヲシテ成長セシム

●何が彼等ノ美シキ色ヲ花ニ與フルカ

○大陽ノ光

●何方穀物ト果物ヲ熟サスルカ

○大陽ノ熱

●汝ハ暗ニ於テ他ノ色カラ一ツノ色ヲ話シ能フカ

○余ハ能ハヌ

●暗ニ於テハ各物が黒クアルカ

○其レガアル

●如何ニ汝ハ知リナスカ

○若シ余が充分暗クアル所ノ室ニ行クナラバ余ハ他ノモノカラ一ツノ色ヲ區別シ能ハヌ

●余ハ僅ノ光ヲ導入ルヲ推察スルカ

○色が甚ダ薄ク見ラルベク始マル

●若シモ余が其レヲシテ十分光ラレムルナラハ如何様ニ彼等が見ヘルデアロフカ

○色が甚だ明ラカデアアルデアロフ

●若シ室ガ十分ニ暗クアルキハ如何ニ汝ハ其レノ内ニ其知ニ色ガアラヌヲ知リナスカ

○色ヲナスコノ其ノ一ガ光デアアルナラバ然ルキハ光ガアラヌ其知ニドコデモ其知ニ色ハアリ能ハヌ

●然ラバ太陽ハ愉快ヲ汝ニ興フルカ其レガナサヌカ  
○其レガナス此ノ世界ハ太陽ナレニハ甚だ暗キ場所デアアルデアロフ

●光リハ多クノ色ヲ生ジナスカ  
○其レハ実ニ甚だ多クヲナス

●或ル色ハ他ノ色ヲ一所ニ置クコトニ由テナサル、カ

○彼等ガル、黄色ト青色ガ一所ニ混合ラル、キハ緑色ヲナス而赤色ト混合ラレタル青色ガ紫色ヲナス

●汝ハ何ガ光ヲナスカヲ話シ能フカ  
○其レが大陽カラ来ル

●光リノ光線ガ限ナク分タレタカ  
○其レガ種々ノ色ニ分タレタ

●如何程多クノ色ニ光ノ光線ガ分タレタカ  
○七ツ也 蝕ノ色ノ如シ

●是等ノ色ハ何デアリシカ

○桔梗色青黛色藍色綠色黃色橙色ト赤色

○如何ニ彼等ガ分タル、カ

○三角硝子ニ由テ

○三角硝子ハ何デアルカ

○三角硝子ハ硝子ノ三角ノ切レデアル

死<sup>シ</sup>ニタル半枚ニ其レヲ通ツテ過<sup>ス</sup>タ所テ而セツノ  
色ニ其レヲ分ツタル光ノ光線ヲモツタル三角硝子  
ガアル而赤々蝕ガアル

○何ガ蝕ヲナスカ

○彼等ガ降<sup>ツ</sup>、アル間ニ水ノ滴<sup>ニ</sup>ヲ通シテ輝ス大陽ガ

蝕ヲ為ス

○水ノ滴ガ蝕ヲナスコトヲ如何様ニ助ケナスカ

○水ノ各々ノ滴ガ小サナル三角硝子ノ如クアル而大  
陽ガ滴ヲ通シテ輝ス大陽ノ光ヲ分<sup>ツ</sup>ツ

○ソコニ水ガ降リツ、アラヌ片蝕カ見ラレ能フカ

○其レガ能ハヌ

○汝ハ曾<sup>カ</sup>テツレカ雨降<sup>ル</sup>キ大陽ガ光ヲ輝スニアラザレ  
バ蝕ヲ見ナスカ

○余ハナサヌ

○然ラバ如何ナルニツノモノガ蝕ヲ為スタメ要用ス

アルカ

○輝タル日光ト驟雨ナリ

●何故ニ蝕ハ左様ニ羨シクアルカ

○其レガ結構ナル弓形ノ羨シキ輝タル色ヲ持ツ

第十章

●或ル他ノ仕方ツレニ於テ大陽が余輩ニマデ要用デア  
アル処ノ或ル他ノ仕方ヲ汝ハ考ヒ能フカ

○余ハ能フ大陽が輝シナサヌナラバ其レガ雨降又デア  
アロフ

●何故ニ其レが降ラヌデアアロフカ

○大陽が小川ト川ト海ノ内ノ水ヲ暖メテ雨ツレラシ  
テ空中ニ騰ラシム

●是レハ何ノ如クアルカ

○其レハ火が其レノ内ノ水ヲ熱クスル片茶煎カラ未  
ル如ク蒸気即チ蒸気ノ如クアル

●空中ニ昇ル如ク水ヨリ何が成ルカ

○其レノ或モノハ余輩カ空中ニ見ル如ク霧ト雲ヲ身  
ス

●雲カラ何がナルカ

○ソコニ彼等ノ内ニ多クノ水ガアル片ハ彼ラが重ク



成テ而下ニ落ル

●彼ラガ落ルキ余輩ガ何ント彼ラヲ名ケナスカ

○余輩ガ水雨ト名ケル

●雪ハ何テアルカ

○雪ハ氷タル蒸気デアアル

●雷ハ何テアルカ

○電ハ水ノ氷タル滴デアアル

●何故ニ電ハ雪ヨリ重クアルカ

○水ノ氷タル滴ハ彼ラカ氷デアアルドコデモ水ノ甚少ナル分子ガアルヨリ重クアル

●大陽ガ彼ラヲ暖メル故水ハ川ノ外ニ昇騰ト汝ノ云

ヒシ汝ハ如何ニ川ガ形造ラル、カラ話シ能クカ

○其レガ雨降ル共水ノ或ルモノハ土地ニ沈ム

●其レガ地中ニ沈ンタキドコニソレガ行キナスカ

○滴カ地中ヲ通テ滴リ而地中ヲ通テ滴リツ、アル如

ノ他ノ滴ト逢フ而メ是ラガ一所ニ流レテ而メ土地

ノ下ニサキ流レテ形造ル

●サキ流 カフ何がナルカ

○其レハ他ノ少キ流レニ来ルマテ其レガ土地ノ下ニ

沿テ流レ而メ彼ラガ一所ニ流レテ而メ大ナル流レヲ

為ス

● 而ドコニ其レが行キナスカ

○ 其レガ岩或ハ粘土ノ底ニマデ来ルナラハ其レガ止マル

● 何故ニ粘土ハツレノ進ミヲ止メナスカ

○ 如何ニトナレバ水ノ粘土ヲ通テ流レ能ハ又故ニ

● 水ハ粘土ニ由テ為サレタル池ヲ滿テ而メ嵩ムベク續タキツレカラ何ガ成ルカ

○ 其レガ土地ノ上ニ吹出ル

● 其レガ土地ヨリ吹出ル其レガ何ント名ケラル、カ

○ 其レガ水ノ泉ト名ケラル、

● 水が泉ヨリ浴テ流ル、其レガ何ヲ為シナスカ

○ 小サナル川

● ドコニ小川が流レナスカ

○ 其レガ他ノ小サナル川ニ逢フマデ其レが浴テ流レテ而メ彼ラが一所ニ流レテ而メ大ナルモノヲ為シ

而メ其レガ川ニ成ルマデ其レが逐次ニ大キクナル

● 而メドコニ川が行キナスカ

○ 其レガ大洋ニマデ流ル、

○ 第十一章

● 余輩ハ何ヲ呼吸シナスカ  
 ○ 余輩ハ空氣ヲ呼吸スル  
 ● ドコニ空氣ガアルカ  
 ○ 其レガ余輩ノ上ト而メ余輩ノ全周囲ニアル  
 ● 如何ナル他ノ名ニ由テ空氣カ名ケラル、カ  
 ○ 其レガ大氣ト名ケラル、  
 ● 空氣則チ大氣ハ乾テアルカ  
 ○ 其レガアラヌ  
 ● 如何ニ汝ハ其レガ乾テアラヌヲ知リナスカ  
 ○ 蒸發氣ハ不<sub>レ</sub>断<sub>レ</sub>川ト而海カラ而メ濕タル地カラ騰<sub>レ</sub>ツ

アル而メ此ノ蒸發氣ハ余輩ガ呼吸スル空氣ヲ充ス  
 ● 何故ニ余輩ハ麗ナル天氣ニ是<sub>レ</sub>ヲノ水ノ凝ナル分子  
 ヲ見ナサヌカ  
 ○ 如何トナレバ彼ラガ左様ニ甚ダ少クアル故ニ  
 ● 何時空氣即チ大氣ハ多クノ濕ヲ含ミナスカ曇タル  
 天氣ニ於テカ又ハ善キ天氣ニ於テカ  
 ○ 曇タル天氣必ケ全シ暖サノ氏ハ善キ天氣ニ於テ也  
 ● 如何ニ汝ハ其レガナスヲ知リナスカ  
 ○ 如何トナレバ太陽ガ最モ晴光ニ輝ス氏ハ其レガ多  
 ク川ノ内ノ水ヲ暖メル而メソコニ水ノ分子ノ大ナ

ル数が空中ニ騰リツ、アル故也

●何故ニ空気ハ曇タル天気ニ其レカナス歟ケソレトケ善キ天気ニ濕ヲ表シナサヌカ

○如何トナレバ空气中ノ水ノ分子ガ左様ニ甚タ少サクアル故

●大陽ガ没スルキハ其レガ地上ト而川内ノ水ヲ暖メルヲ止ル而然ル片空中ノ蒸發気カラ何カナルカ

○其レノ或ルモノガ空中ニ高ク騰テ而メ雲ヲ形造ル而メ其レノ或ルモノハ地ニマデ落テ而メ余輩ガ其レヲ葉而草ノ上ニ見ル

●其レガ葉而草ノ上ニアルキ何ト余輩ガソレヲ名ケナスカ

○余輩ガ其レヲ露ト名ケル

●露ハ或ル用ヒノモノデアアルカ

○其レガアル其レハ夜ニ於テ草而花ニ水滌グ而メ凋ムトカラ被ラヲ防グ

●其レガ他ニ於テヨリ或ル国ニ於テ甚ダ要用デアアルカ

○パレスチンノ如ク或ル国ニ於テ其處ニ雨ガ稀ニ降ル神ガ草而植物ヲ生活シテ保ツ為ニ露ノ沢山ヲ作ル●其レガ亞米利加ノ或ル部分ニ於テモ左様デアアルカ

○南亞米利加ノ西ノ部分ニ於テ其レガアル

●清キ冬ノ朝ニ余葦ガ氷ノ如キ空中ニ少サナル分子

ヲ見ル汝彼ラハ何デアアルカヲ語シ能フカ

○彼ラハ寒サニ由凍タル蒸発気ノ少サナル分子デア

ル

●今汝ハ霜ハ何デアアル乎ヲ語シ能フカ

○霜ハ凍タル露デアアル

●何時ツレガ凍ナスカ

○其レガ地ニマデア落タ後チニ

○第十二章

●余葦ハ水ナシニ生活スルデアロフカ

○余葦ハセヌデアロフ

●余葦ハ他ノ或ル物ヲ飲マヌデアロフカ

○ドンナ飲物デモ其レノ内ニ水ノ或ル混合ナシニハ

為サレヌデアロフ

●何故ニ酒或ハ乳汁ガ水ナシニ用ヒラレヌデアロフ

カ

○酒而斯様ナル飲物ハ水ナシニ生ジナダデアロフ

処ノ菓物カラ為サル、

●如何ニツレガ乳汁ト共ニアルカ

○此物ハ彼ノ生活ヲ保ツ為メニ飲為メニ水而食ヲタ  
 メニ草ヲ持タ子バナラヌ而メ草ハ水ナシニハ生セ  
 スデアロフ

●水ハ余輩ノ飲ム如ク余輩ノ食物ヲ作ルヲ助ケテ  
 スカ

○其レガナシ生スル所ノ各々ノ植物而生活スル所ノ  
 各々ノ動物ニ向テ生活シツ、而シテ彼ラヲ保  
 ツ為メニ水ヲ持タ子バナラヌ

●如何ナル他ノ仕カニ於テ水が要用テアルカ

○其レハ余輩が用フル所ノ各物ヲ清浄ニスル而健康

而幸福ニ余輩ノ體ヲ保ツ

●動物が全事ニ向テ水ヲ用ヒナスカ

○彼ラが一般ニナス而メ鳥デサイモ沐浴スルヲコ  
 ノム

●何か是ヲ余輩ニ教ヘナスカ

○神が清而メ奇麗デアアルベク彼ノ造物ヲ好ム而メ此  
 ノ目的ニ向テ大ナル沢山ニ水ヲ備ヘタ

●砂漠中ニ住居フ所ノ民ヤ又彼ラヲ越テ旅スル所ノ  
 民が何ヲナシナスカ

○彼ラハ彼ラノ駱駝ニテ彼ラが能フ全キ水ヲ荷フベ

ク持ツ而ツレテモ彼ラカ屢々渴ヲ以テ大ニ苦シム  
而清キ着物ノ幸福ヤ或ハ清キ體ノモノデサイモ持  
チ能ハヌ

●甚ダ永キ時ノ間雨降ラヌハ天气が何ト名ケラル  
ルカ

○其レが旱ト名ケラル、

●旱が久シク続クナラバ其レが何ヲ持来シナスカ

○其レが飢饉ヲ持来ス

●何故ニ旱が飢饉ヲ起シナスカ

如何トナレバ土地ハ全キ植物が枯ル程左様ニ

ニ成ル而メ植物ハ動物ノ食物テアル故ニ彼ラが亦

死ス

●若モ彼ラが食物ヲ持チ能ハヌナラバ民カラ何が成  
ルカ

彼ラが病デ而メ亦死ス

●然ラバ水ノ沢山ヲ持ツノ其ノ一ハ大ナル慈悲テ

アラヌカ

其レガアル

●如何ナル他ノ仕方ニ於テ水が要用テアルカ

○民が容易ク水上ヲ採シ能フ

●如何ニ彼ラが能スカ

○彼ラハソコニ川ヤ或ハ湖ヤ或ハ大洋ガアル何知テ  
モ船ヤ而メ蒸気船ニテ航シ能フ

●是等ノ蒸気船ヲ動カシツ、保ツ知ノ蒸気ソレ自ラ  
ハ何デアルカ

○其レハ亦沸騰スル水ノ蒸発気ナル水デアル

●如何ニ水ハ陸ヲ旅スル為メニ民ヲ助ケナスカ

○鐵道ノ上ノ車ヲ引ク所ノ機關車ヲ動カス一ノ其ノ  
一ガ蒸気デアル

●水ハ余輩ニ向テ仕事スルベク為サレ能フカ

○然リ○流レノ如ク各々ノ流レル水ヤ或ハ其他蒸気

ハ其處ニ多クノ物が製造サル、アノ粉挽車ノ種  
々種類ニ於テ器械ヲ動カス

●如何ナル種々ノ形チニ於テ余輩カ水ヲ見ナスカ

○余輩ハ流動体トシテ蒸気雪氷露霜霧及ヒ雲トシテ  
ソレヲ見ル

○第十三章

●汝ハ種々ノ仕法其レニ於テ太陽ガ余輩ニマデ要用  
デアル處ノ種々ノ仕法ヲ語シタ汝ハ其レガナス或



ル他ノ善キヲ考ヘ能フカ

○オー然リ風ハ其處ニ太陽ガアラヌナラバ決シテ吹カヌデアロフ

●何故ニ其レガ吹カヌデアロフカ

○太陽ハ空氣ヲ暖メル而メ若シモ空氣ガ暖デアル時其レハ其レガ再ビ寒クナルマデダンク高ク昇ル

●何カ空氣ヲ暖メテ昇ラシムルカ

○空氣ガ暖ニナル片ハ其レガヨリ輕クアル而メ暖ナル空氣ハ寒キ空氣ヨリ輕クアル故ニ其レカ昇ル

●其レガ昇ル片ハ暖キ空氣ガ空虚ニスル場所ヲ何が充ルカ

○其レヲ取卷テアル所ノ寒キ空氣ハ暖ナル空氣ガ昇ルヤ否ヤ其場所ニ突キ入ル

●暖ナル空氣ガ昇リツ、アリ而メ寒キ空氣ガ突入りツ、アル間ヲ余輩が何ト云ヒナスカ

○余輩ハ風ガ吹クト云フ

●然ラバ風ハ何デアルカ

○風ハ運動スル空氣デアル

- 太陽が甚々暖ニ輝ス其ハ如何ニ空氣が昇リナスカ
- 其レハ實ニ甚々早ク昇ル
- 然ル片寒キ空氣ハ何ヲナシナスカ
- 其レハ此場所ヲ取巻ク然テ甚々速カニ突入ル
- 而メ然ル片何ニト云ヒナスカ
- 如何程甚ダ強ク風カ吹クカヨ
- 風ハ常ニ夏ニ於テ最モ暖ナル日ニ最モ強ク吹キナスカ
- 其レバナサヌ時トシテハ甚々暖ナル天氣ニ余輩ガ

少シモ風ヲ持タヌ

- 何故ニ其處ニ風ガアラヌカ
- 風ハ大氣ノ一ツノ部分ガ殘ノ物ヨリ甚々暖メラル
- 、時ニノミ吹ク而メ若シモ諸ユル部分カ一樣ニ暖
- クアル片ハ其處ニ入来ルベキ寒キ空氣ガアラヌ
- 然シ何故ニ夏ニ於テヨリ冬ニ於テ左様ニ甚々多ク
- ノ風ガ其處ニアルカ
- 赤道ニ於テノ空氣ハ常ニ暖デアル而メ其レガ昇ル
- 片北カラノ寒キ空氣ハ冬ニ於テ夏ニ於テヨリ甚

夕速ニ赤道ニ向テ突入ル

○何が北西ノ風ヲ左様ニ寒クナスカ

○其レハ余輩ノ北西ニ遠ク隔タル寒キ國カラ来ル寒キ  
空氣デアアル其處デハ其レカ常ニ其レガ此處ニアル

ヨリ寒クアル所也

○何が北東ノ風ヲ小寒クナスカ

○北東ノ風ハ余輩ノ北東ナル寒キ亞多羅洋カラ来ル  
空氣デアアル而メ其レカ其レト共ニ大洋カラ雲ヤ或  
ハ蒸氣ヲ吹ク

○何が南風ヲ他ノ風ヨリ左様ニ甚ダ暖カニナスカ

○南風ハ余輩ノ南ナル暖ナル國カラ来ル暖ナル空氣  
デアアル

○若シモ汝ハ南亞米利加ニ於テブラジルニ於テアリ  
シナラバ如何ナル風が最モ寒クアルデアロフカ

南風ナリ

○何故ニ其レガ最モ寒クアルデアロフカ

如何トナレバ其レハ寒キ南極ニ近キ寒キ國カラ来  
ル故ニ

● トノ風カ最モ暖デアアルデアロフカ

○ 北風ナリ

● 何故ニ北風ハ最モ暖デアアルデアロフカ

○ 如何トナレバ彼ラハ赤道ニ近キ暖ナル國カラ来ル  
故ニ

● 地球ニ於テ最モ暖キ場所ハ何處デアアルカ

○ 其レハ赤道ガアル處ニ最モ暖デアアル

● 何故ニ其レガ其處ニ最モ暖デアアルカ

○ 太陽ハ常ニ赤道ノ上或ハ近所ヲ真直ニ輝下ル而メ

其レハ世界ノ或ル他ノ部分ニ於テハナサヌ

第十四章

● 若シモ汝ガ海邊ニアツタナラバ汝ハ規則正シク朝

ト晚ニ吹ク風ヲ知覺タ汝ハ此風が何ト名ケラルカ  
カヲ知リナスカ

○ 人民ガ彼ラヲ海風ト名ケル

● 汝海風ハ何デアアルカヲ話シ能フカ

○ 彼ラハ晚ニ於テ海カラ来ル冷ナル空氣デアアル而  
朝ニ於テ土地カラ来ル冷ナル空氣デアアル

●若シモ風がサハラノ砂漠ノ如キ暖ナル砂漠カラ吹  
ク片ハ風が冷デアアルデアロフカ又ハ暖デアアルデア  
ロフカ

○其レハ實ニ甚ダ暖デアアルデアロフカ

●汝ハ此砂漠ノ風が何ト名付ケラル、カヲ知リナス  
カ

○熱風則チ砂漠風ナリ

●颶風ハ何デアアルカ

○颶風ハ屢々木ヤ家ヲ吹倒スコニ因テ大ナル害ヲナ

ス處ノ甚タ嚴シキ風デアアル

●今マ汝ハ如何ナル善キコヲ風が為スカヲ話シ能フ  
カ

○其レガ夏ニ於テハ甚タ冷シク而メ愈快ニ余輩ヲナ  
ス

●其レハ汝カ識ル處ノ或ル多クノ善キコヲ為シナス  
カ

○其レハ塲所カラ惡キ空氣ヲ吹拂フコニ因テ病ヲ防  
グ

● 風ノ最モ大ナル用ヒノ一ツハ何デアルカ  
 ○ 其レハ一ツノ國カラ他ニマテ海ヲ越テ舟ヲ吹ク夫  
 故ニ民カ一ツノ國カラ他ニマテ行キ能フ  
 ● 其レガアル時ハ此舟ヲ害シナスカ  
 ○ 其レガナス時トシテハ風ガ實ニ甚ク高ク波ヲ吹上  
 ル而メ彼ラガ舟ヲ破ル然ル後其レガ岩ニ向テ烈シ  
 ク憐レムベキ舟ヲ投ル而メ切々ニ其レヲ打破ル而  
 メ其レノ内ノ不幸ナル人民ガ皆溺<sup>ヒ</sup>ラサル、  
 ● 誰ガ空氣ヲ清淨ニスルベク而メ大洋ヲ越シテ一ツ

ノ國カラ他ニマテ行クベク人民ヲ助ケルベク此ノ  
 驚クベキ正ヲ發明セシム  
 ○ 余輩ノ天ノ父ナル神が大ナル發明者デア  
 ● 若シモ余輩ハ神ガ發明シタ驚クベキ物ヲ見ルハニ  
 如何ニ余輩ガ感ズルデアロフカ  
 ○ 余輩ハ彼ヲ恐レ愛テ而メ崇ミ拜スルデアロフ

理學初歩直譯初篇卷之上終

